



社会福祉法人 はりまいのちの電話

With you

広報誌
第59号
2016.12

新

CONTENTS

「現代社会雑感」

- 関西福祉科学大学教授 畠中 宗一 氏 …… 2
第35期電話相談員募集について …… 3～4
統計報告 …… 4
相談員の声 …… 5

「声無き告発」

- 学校法人淳心学院理事長
アントニオ・マルゴット 氏 …… 6
ご支援ありがとうございます …… 7
事務局日誌・お知らせ …… 8

このたび「祈り」をテーマにライブコンサートをしました。
相談員は、相談者の悩みが少しでも癒えますように…と祈る
ような思いで、受話器を置いています。



厚生労働省補助事業 自殺予防いのちの電話講演会

はりまいのちの電話 公開講座のお知らせ

精神障がいを持つ親の元で育つということ

～家族・当事者として、そして児童精神科医として

2017年3月19日(日)

講師

なっかり いくこ
夏莉 郁子氏

開場：13:30 開演：14:00

会場：イーグレひめじ3F あいめっせホール

参加費：無料

お問い合わせは事務局まで 079-288-5099



はりまいのちの電話

相談電話

079-222-4343

毎日 14:00～翌日 1:00

自殺予防いのちの電話

0120-783-556

毎月10日 8:00～翌日 8:00

相談は無料です。内容の秘密を守ります。名前をおっしゃる必要はありません。

現代社会雑感

関西福祉科学大学教授
畠中 宗一



現代社会の特徴の一つは、生産的・課題達成型の価値観を重視するところにあります。そこでは、利便性・快適性・効率性が志向されます。このような社会では、私事化が肥大化していきます。私事化の肥大化は、極端な場合、「自己を最優先することが善」という解釈を生みます。一方、子育てや介護では、親や介護者が犠牲になるという側面を含みます。「自己を最優先することが善」という価値観を内面化して、子育てや介護に対応することは、葛藤を伴います。他方、利便性・快適性・効率性を志向する社会は、葛藤と向き合うことよりも葛藤を回避する傾向があります。より一般的な言い方をすれば、葛藤を孕む社会であるにもかかわらず、葛藤を経験する機会が少ない社会です。結果、葛藤場面に弱い人々が拡大再生産されていきます。「自己を最優先することが善」という価値観と、親や介護者が犠牲になるという側面を、折り合わす力が必要になります。しかし、葛藤を煩わしいと思えば、折り合いを求めるより自己を最優先にした行動になるのではないのでしょうか。例えば、友達にカラオケに誘われます。子どもがぐずります。思い通りにならない現実、気づいてみたら手を挙げていたという事例は多いように想像します。

このように考えると、「葛藤を折り合わす力」が重要なキーワードになります。より一般化した言い方をすれば、「関係性を生きる力」です。これは、他者を存在として受容し、自己の思いも伝えることができる。このことが、相互性のなかで展開される現象です。現代社会では、この「関係性を生きる力」が相対的に低下しています。家族問題や家族病理現象の多くは、「関係性を生きる力」を回復することで解決への道筋が見えてくるように思います。

最近、仲の良かったきょうだいが骨肉の争いをする事例を多く見て、家族の絆は幻想ではないか、という発言を耳にしました。これも私事化が肥大化した社会では、関心が自己に向くため、あり得ることだと思います。現代社会に欠落しているのは、「他者に対する誠実な関心」ではないのでしょうか。「他者への誠実な関心」があってはじめて、独自性存在としての相互受容という可能性が生まれてくるように思います。独自性存在とは、フランクルの使用した概念です。彼は、人間存在を不完全体と定義します。完全体であれば、代替できますが、不完全体であるため代替することができません。故に、独自と言います。これを突き詰めていくと、かけがえのない存在という意味にも転化していきます。したがって、「他者に対する誠実な関心」、そして「関係性を生きる力」、これらをいかに高めていくかが、家族問題や家族病理現象の解決には重要なキーワードになっていくように思います。

第35期電話相談員養成講座 ―基礎養成コース・前期―

あなたもこの活動に加わって、共に学びつつ、受話器を握るひとりになりませんか

「いのちの電話」相談員とは

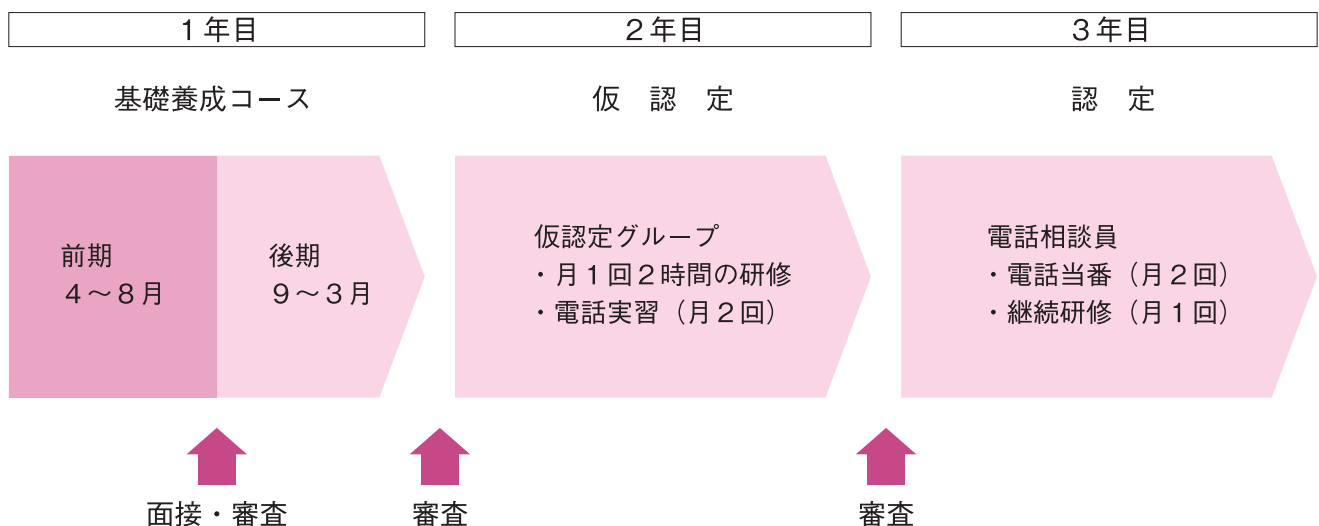
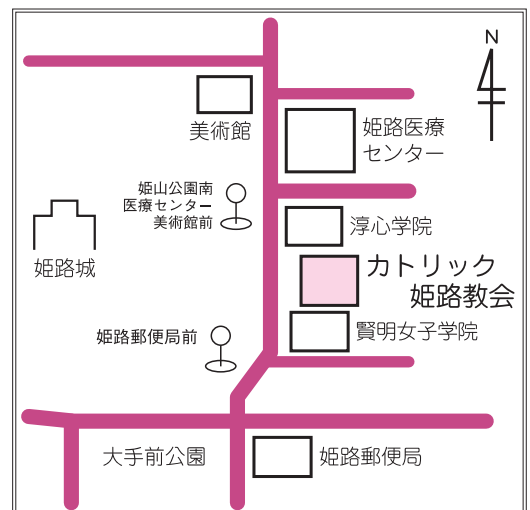
- (1)「はりまいのちの電話」は、毎日午後2時から午前1時まで、日曜、祝日を含む365日相談を受けています。相談員は月2回（1回4時間程度）の電話を担当しています。
- (2)相談員になるためには、前期・後期の研修を受け、それぞれの課程の審査を経て正式な認定を受けます。（前期コースには年齢制限はありませんが、後期コース受講生は20歳以上を対象とします。）※下記の図参照
- (3)認定後も継続的に研修が必要です。
- (4)相談員は電話相談にあたるほか、広報活動・ボランティア委員会などに参加して「はりまいのちの電話」の事業を支えます。
- (5)その活動に関しては、ボランティアとして無給（交通費も自己負担）を原則とします。

〈基礎養成コース・前期の概要〉

- ・講座期間 2017年4月より2017年8月迄
- ・場所 カトリック姫路教会（姫路市本町68）
- ・受講料 基礎養成コース 前期 2万円
- ・定員 50名

アクセス

JR姫路駅中央出口から城側へ 神姫バス乗車 姫路医療センター・美術館経由のバスで、姫路郵便局前下車進行方向へ100m
（教会駐車場の使用はご遠慮下さい）



〈第35期電話相談員養成講座 基礎養成コース前期・カリキュラム〉

2017年	内容・講師	(午後3:00～5:00)
4月8日(土)	開講式・オリエンテーション ボランティア共に生きるー 長尾 文雄(関西いのちの電話養成講座講師・大阪女学院大学・短大講師)	
4月22日(土)	現代のストレス社会を考える 金高 真人(金高医院院長・精神科医)	
5月13日(土)	ひきこもり・依存症など現代の心の病について 阪田 憲二郎(神戸学院大学准教授・明石市児童生徒支援課 臨床心理士)	
5月27日(土)	中高年の危機 荒木 峰生(菊川荒木内科心療内科院長・精神科医)	
6月10日(土)	ライフサイクルと発達課題 畠中 宗一(関西福祉科学大学教授・大学院社会福祉科学研究科長・大阪市立大学名誉教授)	
7月1日(土)	こころを病むとは 本多 正道(本多クリニック院長・精神科医)	
7月8日(土)	DVについて～ 現状と支援者に求められること 徳永 桂子(NPO法人女性と子どもセンターウイメンズネット神戸)	
7月22日(土)	人間の性 平田 真貴子(京都いのちの電話常務理事・同ボランティア委員長)	
8月5日(土)	カウンセリング ① Sr. 田中かよ子(聖母奉献修道会会員・はりまいのちの電話養成講座講師)	
8月19日(土)	カウンセリング ② 井上 光一(姫路獨協大学教授・臨床心理士)	

《申込み方法》

養成講座申込書(8p)に必要事項を記入し4月1日(土)までに郵送または持参してください。

申込書はホームページからもダウンロードできます。ただし定員に達し次第締切ります。

(申込み先): 〒670-0012 姫路市本町68 カトリック姫路教会内 社会福祉法人 はりまいのちの電話 事務局
TEL & FAX: 079-288-5099 (月～土13:30～18:30日・祝除く) <http://www.harima-inochi.jp>

統計報告 月別受信件数

(2016年4月～2016年9月)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
通常ダイヤル	566	536	529	521	484	478
フリーダイヤル	40	35	36	37	33	37
合 計	606	571	565	558	517	515

資金ボランティアを募集しています

○維持会員(何口でも結構です)

個人会員2,000円/年 団体(法人)会員 10,000円/年

○一般寄付 随時お受け致します。

○送金先 ゆうちょ銀行 郵便振替 01150-6-74302 社会福祉法人 はりまいのちの電話

※当法人への寄付金については、社会福祉法人への寄付金として、税制上、寄付金控除の対象となります。

資金ボランティアとしてはりまいのちの電話を支えて下さいますようお願い申し上げます。

相談員の声

最近認定された相談員にアンケートをとりました。

☆いのちの電話を何で知りましたか？

- ・新聞の記事で知りました。
- ・郵便局に置いてあったチラシで知りました。
- ・以前から知っていましたが、詳しくはホームページで知りました。

☆電話相談員養成講座に応募したきっかけは？

- ・前期養成講座の講師、講座内容を見て勉強してみようと思いました。
- ・友達にすすめられて
- ・退職を機に今後の人生でやりたいこと自分の人生に加えたいことのひとつが「少しでも人の助けになること」だった。ちょうど退職する直前に記事を見たことが大きいです。
- ・父の終末医療がきっかけで、患者家族として、自分たちの周りの人達の接し方によって一喜一憂した体験から、他人の接し方ひとつで人の心は変わるのだと感じたので、心に寄り添う何かができるかという思いからです。

☆認定を受けた時のお気持ちはいかがでしたか？

- ・たいへん嬉しかったです。
- ・うれしいと思った反面、責任の重さに身の引きしめる思いでした。
- ・認定を受け、それまでの努力が実った嬉しさで、やっていけるのかという不安。でも自分に与えられた機会を大切にしようと思った。
- ・嬉しいというよりは、長かった～と感じました。



☆これからの活動に対する思い

- ・まだまだ傾聴が出来ていないので、いろんな方から学んでいきたいです。
- ・いのちの電話の勉強会、又はそれ以外の講座などに参加し、常に心理の勉強を続けると共に、日常生活の中でも「感じること」を意識し、それを相談に活かしたい。
- ・養成講座に応募したことで今まで自分の知らなかった社会を知りました。相談員の認定を受けるまで関わって下さった方々が魅力的な方が多かったので、もうしばらく頑張ってみようと思っています。
- ・年を重ねることで少しは聴けるようになるのかと思っていたら大間違いで、年々自分の癖が出てきて、未熟な人間であることを、思い知らされます。続けていくことに不安を感じることも自信をなくすことも多いけれど、研修や相談員さんとの会話で学ぶことが大きい、又、日常ふとした時に教えて頂いたことがわかる時があるようでもう少し、もう少しと思いながら頑張ってみようと思っています。

声無き告発

学校法人 淳心学院

理事長 アンтониオ マルゴット



日本の交通機関が一分も遅れずに予定通り発車することは我々にとって当たり前だが、驚く外国の旅行客が多い。けれども、最近この実績が崩れているように思うことがある。JRの在来線が遅れる日が実に多い。悪天候や乗客の安全のためであれば、むしろありがたく思わなければならないが、「どこそこでの人身事故のため」という車内放送が目立って多くなっている。「人身事故」というのは、乗客に不快な印象を与えるのを避けるのに用いられる婉曲的な表現で、ほとんどの場合は自死があったことを意味する。会社もしくは学校の帰りに駅のホームで電車を待っているとき、深く考えず、衝動的感情によって飛び込む人が多いのではないか。しかしこのような行動に出るまでには必ずそれなりの経緯があったはずだ。

内閣府の統計によると、把握できる自死の数は年々減少している。2010年の31,690件に対して2015年は24,025件まで下がった。だが気になるのはその中の20歳未満の自死の数がほとんど横ばいだということで、2010年の552件に対して2015年は554件だった。また、東京では30代未満の死因のトップは自死だ。学校生活のいじめ、進路や就職の悩み、男女交際、会社でのパワハラなど、原因は様々だが、共通して言えるのは人間関係の疎遠による孤独感ではないか。

家庭、職場、学校など、共同生活の場のどこでも、ある程度のストレスは避けられない。性格や考え方の違う人間が毎日顔を合わせれば、苛立ちや口論が起こるのは当然だし、愛し合っている者同士の夫婦や兄弟の喧嘩がどこの家庭にもある。壁にぶつかって、自分が進もうとしている道が閉ざされたとき、だれにも相談することができなければ、一人で思い悩み、ストレスが溜まってしまう。親、兄弟または友人に心を打ち明ければ助かることもあるが、残念ながらそれに必要な相互の信頼関係が普段からできていない職場や学校、家庭が昔と比べて増えているのかもしれない。だから、死ぬこと以外に逃げ道を見出せないのだ。

追い込まれたあげく、惜しくも自ら命を絶つ若者の絶望は今の社会に対して不毛な人間関係を告発している。この声無き告発が無視されず、彼らの死が決して無駄にならないようにと願う。

ひとりじゃないよ
話をきかせて



自殺予防 いのちの電話

0120-783-556

◎毎月10日(第2)24時間・無料です(※)

「自殺予防 いのちの電話」は、
悩み苦しんでいる人の“こころ”が和らぎ、
希望と勇気をもって
再び生きていかれることを願い
開設されました。

<http://www.find-j.jp/>
日本いのちの電話連盟

◆主催：一般社団法人 日本いのちの電話連盟 ◆後援：厚生労働省

《2016年8月10日から番号が変更になりました。》

事務局日誌

(2016年4月1日～11月30日)

- 4月12日 第33期電話相談員仮認定式 第32期電話相談員認定式
第34期電話相談員養成講座－前期－開講式・オリエンテーション
5月11日 2016年度 第1回理事会・評議員会
5月26日～27日 日本いのちの電話連盟理事会（岡山）
5月27日 日本いのちの電話連盟総会、全国理事長・事務局長合同会議
5月31日 2016年度 第1回兵庫県内電話相談機関等情報交換会（神戸）
6月4日 電話相談員全体研修会 講師：倉田めば氏（Freedom代表）
6月18日 フリーダイヤル事前研修会 講師：研修委員
7月11日 「いのちと生きがいプロジェクト」実績報告会（兵庫県公館）
7月30日 電話相談員募集説明会（イーグレ姫路4F会議室）
8月18日 2016年度第1回兵庫県自殺対策連絡協議会（神戸）
9月2日 J R西日本あんしん社会財団
近畿ブロックいのちの電話合同会議（大阪）
9月12日 自殺予防街頭キャンペーン（J R姫路駅周辺）
9月15日～17日 第34回いのちの電話相談員全国研修会 なら大会
10月16日 李政美らいぶin聖徳殿（太子町 斑鳩寺）

第34期養成講座（前期） 4月から8月までの月2回土曜日開催

第34期養成講座（後期） 9月から2017年3月まで月2回土曜日開催（予定）

※4月10日より毎月10日には「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤルに参加。
その他、運営委員会、事務局会議、電話相談員継続グループ研修、第6期アドバンスグループ研修を月1回開催。
また、研修委員会、統計委員会などの各種ボランティア委員会を適時開催。

李政美 らいぶin聖徳殿

2016年10月16日

揖保郡太子町斑鳩寺聖徳殿に於いてコンサートをしました。
「祈り」をテーマにした李政美さんの歌声が心にしみじみと響き、癒された時間を過ごすことができました。



電話相談員募集説明会のお知らせ

日時：2017年1月15日（日）

14:00～15:30（13:30受付開始）

会場：イーグレひめじ4F セミナーC会議室

第1部 ミニ講演会 “聴くこと そして 寄り添うこと”

講師：はりまいのちの電話研修委員 石井 要子

第2部 いのちの電話の紹介と電話相談員募集について

どなたでもお気軽にご参加ください。

●お問い合わせ・申し込みは 事務局まで

発行：社会福祉法人

はりまいのちの電話

発行人：理事長 福田 和臣

編集：広報委員会

発行日：2016年12月1日

事務局：〒670-0012

兵庫県姫路市本町68番地

TEL・FAX (079) 288-5099

<http://www.harima-inochi.jp>

※この事業は一般財団法人敬愛まちづくり財団の助成を受けて実施しています。

キリトリ線

第 35 期 電 話 相 談 員 養 成 講 座 申 込 書				
フリガナ	生 年 月 日		年 令	性 別
氏 名	・ ・		歳	男 ・ 女
住 所	〒()	電 話	() -	
職 業	会社員・公務員・教員・自営業・主婦・その他 ()			